

2021「若草プロジェクト」シンポジウム 国際ガールズデーに寄せて

—— 少女たちは世界を変える

Girls have the potential
to change the world.

大妻女子大学本館E棟055教室

2021 10/30 sat 13:00~16:00

SDGsの目標の中で、日本が最も立ち遅れているのはジェンダー平等の実現です。すでに女性活躍に真剣に取り組んでいるたくさんの企業・団体がありますが、まだスタートラインにすら立てていない少女たちがいます。

少女が元気でなければ、社会は元気ではありません。日本の未来はありません。少女たちの現状を知っていただき、信頼される大人として、少女たちと共に世界を変えていくために、私たちは、このシンポジウムをリアルとオンラインのハイブリッドで開催いたします。

当日は、オンラインでご参加の方々も含め、すでに動き始めた学生や企業の人たち、いろいろな立場の方々と、今の思いを語り、これからのアクションにつなげたいと考えています。できるだけ多くの方にご参加いただけますよう、メディアの皆さまには、当シンポジウム開催告知へのご協力をなにとぞよろしくお願い申し上げます。また、ご多忙の折とは存じますが、当日もぜひ会場に足をお運びいただき、少女たちの現状と動き始めた人たちの熱い想いを、多くの方々に伝えていただけますよう、どうかお力添えください。



村木 厚子

若草プロジェクト代表呼びかけ人



上野 千鶴子

社会学者



大谷 恭子

若草プロジェクト代表理事



Little Women Project

若草プロジェクトの活動について

若草プロジェクトは、貧困や暴力など、社会の抱える様々な困難の中にいる少女たちの心に寄り添う支援を届け、未来を育むために、2016年4月より活動を行っています。

- 悩みや相談があり、自分でどうしていいかわからない時、ほっと一息ついて安心して過ごすことができる居場所、「まちなか保健室」の運営 ● LINE相談の実施
 - 企業と支援の現場をつなぐ活動（ファーストリテイリング社との「若草×服のチカラ協働プロジェクト」や、日本生命による資金協力やグッズの寄贈など） ● 若草メディカル基金 など
- 詳しくは、若草プロジェクトホームページ wakakusa.jp.net をご覧ください。

2021「若草プロジェクト」シンポジウム—少女たちは世界を変える 概要

日時：2021年10月30日（土）13：00～16：00

会場：大妻女子大学本館E棟055教室 東京都千代田区三番町12番地

参加費：無料

お申し込み：若草プロジェクトホームページ（wakakusa.jp.net 研修・イベントページ）から
または右のQRコードからご応募ください。

会場へのご参加は、先着順で定員150名まで。

オンライン参加のお申し込みは10月27日(水)までをお願いします。



プログラム：第1部 ● 「応援団の応援団」としての挑戦

第2部 ● あなたが背負ったものはなにか。背負わなくてもよいものはなにか。

第3部 ● みんなが動き始めた～少女たちは世界を変える

主催：一般社団法人 若草プロジェクト

共催：大妻女子大学共生社会文化研究所 事業連携パートナー：株式会社朝日エル

後援：内閣府男女共同参画局、厚生労働省、法務省、千代田区、日本更生保護女性連盟、日本BBS連盟

プログラム・シンポジスト紹介 Girls have the potential to change the world.

第1部 13:00~13:50

「応援団の応援団」としての挑戦

- コロナ禍での孤立・孤独、若年自死の増加と、背景。法律の後押しができるまで。
若草プロジェクト代表呼びかけ人 村木厚子
- 少女たちの問題の顕在化で、社会は動き始めた
NHK編成局展開戦略推進部 部長 福田和代
- 企業連携 新たな広がり プラットフォーム「TsunAが〜る」
若草プロジェクト 理事 福田万祐子
株式会社ファーストリテリング コーポレート広報部ソーシャルコミュニケーションチームリーダー シェルバ英子
株式会社朝日エール 会長 岡山慶子



村木 厚子
(一社)若草プロジェクト
代表呼びかけ人

津田塾大学客員教授等を務めるとともに「共生社会を創る愛の基金」等のNPO活動に携わり、誰もが生きやすい「共生社会」づくりをめざしている。



福田 和代
NHK編成局
展開戦略推進部部长

「NHKスペシャル」「クローズアップ現代+」など報道・ドキュメンタリー番組を多数制作。「生理の貧困」を問題提起し、反響を呼ぶ。



福田 万祐子
(一社)若草プロジェクト
理事

(株)MiWe(ミウイ)代表取締役。福田医院統括。支援現場と企業や社会をつなげ、少女たちの大きな応援団を作る取組に従事している。

第2部 14:00~15:15

あなたが背負ったものはなにか。 背負わなくてよいものはなにか。

- 若草プロジェクトの活動から見てきたこと
若草プロジェクト代表 理事 大谷恭子
- あなたが背負ったものはなにか。背負わなくてよいものはなにか。
社会学者 上野千鶴子
- 上野千鶴子さんに聞いてみよう! ~若者たちとのトークタイム



大谷 恭子
(一社)若草プロジェクト
代表理事

弁護士。様々な事件・問題に取り組みながら、社会的に弱い立場にある人の地位向上に尽力。生きづらさを抱える若年女性達に寄り添う支援活動を行っている。



上野 千鶴子
社会学者

東京大学名誉教授、認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長。若草プロジェクト呼びかけ人。女性学、ジェンダー研究のバイオニアである。

第3部 15:20~16:00

みんなが動き始めた ~少女たちは世界を変える

- 若草プロジェクトメンバーと動き始めた人たちとのトーク
コーディネーター：NHK編成局展開戦略推進部 部長 福田和代

動き始めた学生や企業の人たちが、今の思いとこれからのアクションについて語り合います。当日のこの時間の参加者もチャットでご意見をお寄せいただけます。

シンポジウムに関するお問い合わせ先 ✉ email : info@ellesnet.co.jp



Girls have the potential to change the world —これは2011年、国連が毎年10月11日を「国際Girl's Day」と決めた時のスローガンです。少女たちの教育とエンパワーメントを推進し、一人一人が自分の人生の主人公となれるよう、世界各地で少女たちが自ら声をあげ、社会がこれを応援する取り組みが始まりました。その主旨に心から賛同し、誰も取り残さず、その「一人一人に寄添うこと」をミッションとし、困難な中にある少女や若い女性たちを支援する為に2016年4月に、このプロジェクトを立ち上げました。

「Little Women」。「若草物語」の原題から、私たちも、「若草プロジェクト」というこの名前を決めました。緑豊かな草原はもとより、どんな荒地にあっても必ずやその1本1本の若草が、それぞれの場所で根を下ろし強く生きていってくれること、どんなに小さくてもそれぞれの花をつけてくれることを心から願い、信頼される大人として熱意と誠意を持って活動しています。

お手数ですが、当シンポジウムへの取材のお申し込みは
 以下にご記入の上、**10月27日（金）**までに、
 朝日エル **03-5565-4914**までFAXにてお送りください。

2021「若草プロジェクト」シンポジウム ——少女たちは世界を変える 取材申込書

日時：2021年10月30日（土） 13：00～16：00（受付開始12：30）
 会場：大妻女子大学本館E棟055教室 東京都千代田区三番町12番地



貴社名・ご所属・肩書

お名前

媒体名

TEL/FAX

MAIL

スチール ムービー 撮影なし

通信欄

お問い合わせ先

株式会社朝日エル 伊藤・中村 info@ellesnet.co.jp 03-5550-2007